

河内長野市はコロナ差別を決して許しません

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しが見えません。市民は不安を抱えながら日々の生活を送っています。感染の予防に努めても、この感染症を完全に防ぐことは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。

一方で、感染者や医療・介護従事者、その家族などに対する差別や偏見、誹謗中傷など、人権を侵害する出来事が新聞等で報道されています。他県では、クラスターが発生した学校や施設の関係者が差別的言動を受けるといった憂慮すべき事態も起こりました。

河内長野市と河内長野市人権協会は、「新型コロナウイルス感染症に関連した差別は決して許さない」との強い決意のもと、今後も市民一人ひとりが力を合わせ、思いやりとぬくもりのある、人権が尊ばれる心豊かなまちづくりを進めることを、ここに宣言します。

【河内長野市・河内長野市人権協会共同宣言】

新型コロナウイルス感染症に関連した差別を許さないまち宣言

1 互いに認め合い、思いやり、市民全員で感染症に打ち勝ちましょう！

感染することを恐れている人、仕事に不安のある人、家族の安全を心配する人、自分が感染することで周囲への影響を気にかける人…。誰もが感染症の当事者になる可能性があります。だからこそ、互いに認め合い、相手を思いやる気持ちを持って、市民全員でこの感染症に打ち勝ちましょう。

2 正しい情報と知識による冷静な行動で、人とのつながりを大切にしましょう！

デマや差別を助長する発言は、私たちの社会や身近な人とのつながりを分断してしまう危険性があります。感染者は自粛ルールを守らない人という誤った認識が一部で見られ、誹謗中傷がネット上に書き込まれています。偏見にとらわれず、正しい情報・知識に基づいた冷静な行動で、人と人とのつながりを大切にしましょう。

3 生活を支えてくれるすべての人たちに感謝し、応援しましょう！

新型コロナウイルス感染症の治療法はまだ確立していません。医療・介護従事者を始め社会機能の維持に貢献している人たちは不安と闘いながら働いています。これらの人たちへの差別的な言動は決して許されません。私たちの生活を支えてくれるすべての人たちに感謝するとともに、ねぎらいの気持ちで応援しましょう。

令和2年10月16日

河内長野市・河内長野市人権協会